

令和6年度大谷場中学校だより



おおやば

第4号

令和6年6月28日(金)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」

さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場2-13-54

TEL : 048-882-9962 FAX : 048-811-1336

WEB : <https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/>

MAIL : oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学校WEBページ
QRコード



「自立・共生・錬成の具現化を目指して」

校長 八坂和典

6月初旬にさいたま市中学校総合体育大会がおこなわれました、「全力で、最後まであきらめず、チーム大谷場で戦ってきてほしい」という壮行会での私の激励の言葉通り、3年生を中心に「チーム大谷場」の底力を随所に見せてくれました。選手はチーム全員の気持ちを背負い、最後まであきらめず全力プレー、チームを代表して試合に出る責任を果たそうと奮闘していました。応援等の生徒も選手を必死に応援するとともに今自分がチームにできることを考え、選手が最高のパフォーマンスで試合ができるように荷物運びや水出しなど一生懸命に行っていました。どの競技の試合も「チーム大谷場」として、一体感のある姿で戦い切ることができました。勝負の世界ですから、勝ち負けは結果として受け止めなければなりません。大谷場中の学校教育目標である「自立・共生・錬成」の姿をしっかりと示せたことは生徒の皆さんの成長にとって何よりも価値のあることです。この大会での成長をさらに今後につなげてくれることを期待しています。文化部の生徒の皆さんも外部で何かに頑張っている生徒の皆さんも目指す姿は同じです。どんなに小さな取り組みでも「全力で、最後まで粘り強く、仲間とともに」の精神で頑張ってください。

大会終了2日後、3年生が2泊3日の修学旅行で京都・奈良に行ってきました。今年度は1日目、2日目ともに生徒主体の班別行動学習を実施し、自分たちで行きたい場所を選び、計画して行動しました。初めての土地で、電車の遅延等もあり、計画通りにいかない場面もあったようですが、その都度、班員で計画を再考し、変更等については教員に連絡をし、ルールやマナーを守り、仲間とともに協力して京都や奈良を巡り、立派に班別行動をやり切ってくれました。教員の手を借りることなく、決められた時間にしっかりと戻ってくるなどこれまでの中学校生活で培ってきた力を存分に発揮できました。旅館や旅行会社の方からも生徒の素直で落ち着いた姿や主体的に行動する姿にお褒めの言葉を数多くいただきました。

このように大谷場中生は学校行事や日常の生活の中で学校教育目標の具現化を目指し、日々頑張っています。しかしながら学校生活では思うようにいかないことも多く、それも生徒にとっては学びの機会です。学校ではならぬものはならぬという一線を持ちながらも、思うようにいかない場面においてもあきらめず、粘り強く頑張る姿を応援し、ともに考え、励まし、見守りながら生徒を支えています。保護者の皆様におかれましてもお子様のよりよい成長のために、自分自身の言動に責任を持たせ、目の前にある壁を乗り越えようと頑張る姿を温かく見守り、支えてあげてほしいと思っています。

間もなく夏休みに入ります。夏休みは様々なことにチャレンジし、自分自身を成長させる絶好の機会でもあります。とは言え、特別なことを考える必要はありません。子どもを成長させる機会は日常生活の中にもあふれています。規則正しい生活、安心・安全な生活、自主的な家庭学習、積極的な部活動の参加、家族の手伝い、地域でのボランティアやお祭り等への参加など。ぜひ、夏休み前に家族で夏休みの過ごし方についてじっくりと話し合ってもらいたいと思っています。地域の皆様も見守りをよろしくお願いします。